

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 75 問で解答時間は正味 1 時間 20 分である。
2. 試験問題の持帰りを認めない。
3. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には 1 から 4 までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) (問題 101) 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ のうち ③ をマークして

101 ① ②  ④ とすればよい。

- (2) 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……  (濃くマークすること。)

悪い解答の例……   (解答したことにならない。)

- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- (4) 1 問に二つ以上解答した場合は誤りとする。

- (5) 答案用紙は折り、曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 ICM(国際助産師連盟)で正しいのはどれか。

1. 我が国は設立当初から加盟している。
2. 大会は目的達成のために2年毎に開催している。
3. 目的は助産師が提供するケア水準の向上である。
4. 文化的多様性を尊重し、その範囲内で支援を行う。

〔問題 2〕 バースプランで正しいのはどれか。

- a. 妊産婦と家族の希望を常に優先する。
- b. 人権への配慮が主眼である。
- c. 妊産婦と家族にとっての出産のあり方を考える。
- d. 助産師が妊産婦の出産を立案する方法である。

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 3〕 更年期女性の身体的変化で正しいのはどれか。

1. 血中ゴナドトロピン値が低下する。
2. 50歳代になると卵子数が急激に減少する。
3. 膣pHが上昇し抵抗性が低下する。
4. 子宮が膣より早く萎縮する。

〔問題 4〕 男性の性的欲求低下障害で正しいのはどれか。

1. 自発的受診よりパートナーの勧めによる受診が多い。
2. 長期間性欲が低下してからの受診が多い。
3. 勃起障害を伴うことは少ない。
4. 性欲相の障害が原因になる。

〔問題 5〕 喫煙と胎児・新生児との関係で正しいのはどれか。

1. シアン化合物が胎児の蛋白合成を促進する。
2. カルボキシルヘモグロビン (CO-Hb) は減少する。
3. ニコチンは胎盤血流量を減少させる。
4. ニコチンは母乳には移行しない。

〔問題 6〕 子宮および付属器を支持するうえで寄与が少ない靱帯はどれか。

1. 広靱帯(子宮広間膜)
2. 円靱帯(子宮円索)
3. 卵巢固有靱帯(固有卵巢索)
4. 骨盤漏斗靱帯(卵巢提索)

〔問題 7〕 帝王切開術中の産婦で正しいのはどれか。

1. 胃の蠕動が亢進している。
2. 仰臥位低血圧症候群を発症しやすい。
3. 脊髄麻酔では血圧が上昇する危険がある。
4. エフェドリンによって子宮筋が弛緩する。

〔問題 8〕 37歳の妊婦。妊娠8週。ダウン症候群を心配し検査を希望して来院した。

説明で正しいのはどれか。

1. 夫とともに染色体検査を受ける。
2. トリプルマーカー検査法で確定診断ができる。
3. 羊水穿刺による流産率は約2%である。
4. 羊水穿刺は妊娠15週以降に行う。

〔問題 9〕 遺伝性疾患で正しいのはどれか。

1. 常染色体優性遺伝子の形質の発現は突然変異によることが多い。
2. 常染色体劣性遺伝疾患の再発危険率は8分の1以下である。
3. 伴性遺伝ではY染色体上の遺伝子の異常が問題となる。
4. 近親婚では児が常染色体優性遺伝疾患を発症する可能性が高くなる。

〔問題 10〕 40歳未満の女性にも好発するのはどれか。

1. 外陰の扁平上皮癌
2. 子宮頸部の扁平上皮癌
3. 子宮体部の腺癌
4. 卵巣の腺癌

〔問題 11〕 性器ヘルペスで正しいのはどれか。

- a. 抵抗力の低下によって再発する。
 - b. 女性性器に感染するのは2型だけである。
 - c. セフェム系抗菌薬が有効である。
 - d. 産道感染によって新生児に重大な感染症を起こす。
1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 12〕 不妊症の検査法と目的との組合せで正しいのはどれか。

1. TRHテスト ————— 高プロラクチン血症
2. ルビンテスト ————— 精子と頸管粘液との不適合
3. ヒューナーテスト ————— 卵管閉塞
4. LH-RHテスト ————— 黄体機能不全症

〔問題 13〕 妊娠黄体が退縮しプロゲステロン生成が主に胎盤へ移行する時期はどれか。

1. 妊娠 6 週
2. 妊娠 10 週
3. 妊娠 14 週
4. 妊娠 18 週

〔問題 14〕 妊娠 20 週の胎児で誤っているのはどれか。

1. 胎位や胎向を盛んに変える。
2. 呼吸様運動を行う。
3. 肺サーファクタントが合成され肺が成熟する。
4. 羊水を嚥下し尿として排泄する。

〔問題 15〕 胎盤で正しいのはどれか。

1. 分子量が 1,000 以下の物質は容易に通過する。
2. hCG の血中濃度は胎盤重量と相関する。
3. 絨毛上皮の最外層にはシンシチウム細胞がある。
4. 妊娠中毒症ではらせん動脈の過形成が起こる。

〔問題 16〕 図は胎児期から乳児期の免疫グロブリン血中濃度の変化である。

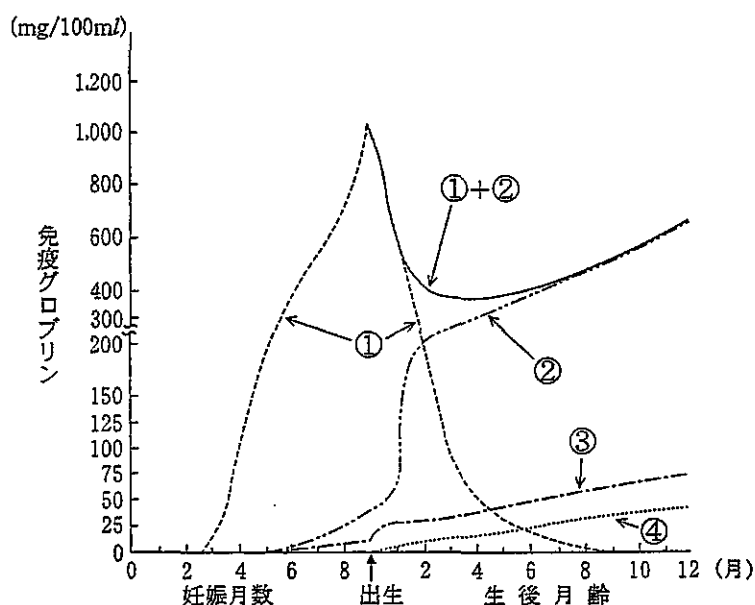


図 免疫グロブリン血中濃度の出生前後の変化

正しいのはどれか。

- a. ①は早産児では低値を示す。
- b. ②の産生が不十分なため、生後3か月ころ免疫グロブリンが最低となる。
- c. ③は新生児の腸管や気管支粘膜の細菌やウイルス感染を防止する。
- d. ④は先天性感染症では新生児の血中濃度が高い。

- 1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 17〕 25歳の専業主婦。妊娠16週。身長153 cm、体重50 kg(非妊時48 kg)。

指導で適切なのはどれか。

- 1. 妊娠中の体重は53 kg 以内
- 2. 蛋白質は60 g/日
- 3. 摂取エネルギー量は1,900 kcal/日
- 4. カルシウムは800 mg/日

〔問題 18〕 図は妊娠期の心理的な変化を示す。

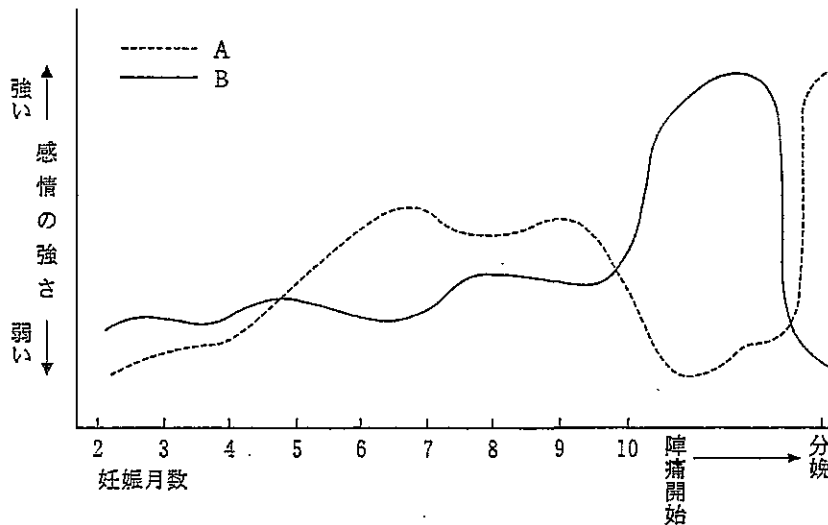


図 妊娠期の心理的な変化

正しい組合せはどれか。

<A>

1. 喜びの感情 ————— 不安の感情
2. 胎児への肯定的な愛着 ————— 胎児への否定的な愛着
3. 出産への希望 ————— 出産への不安
4. 母親役割の受容 ————— 母親役割の否認

〔問題 19〕 陣痛で正しいのはどれか。

1. 陣痛発作と陣痛間欠とを合わせた時間を陣痛周期という。
2. 胎盤循環は陣痛発作時に変化しない。
3. 分娩陣痛は開口期陣痛と娩出期陣痛との2種である。
4. 後陣痛は経産婦より初産婦に強い。

〔問題 20〕 児頭の正常な娩出機転で正しいのはどれか。

1. 順(正)軸進入は矢状縫合が骨盤入口面縦径に平行である。
2. 第1回旋で児頭の産道通過面が小斜径周囲になる。
3. 第2回旋で矢状縫合は骨盤前後径に一致し大泉門は恥骨結合に向かう。
4. 第1前方後頭位の骨重積は左頭頂骨が右頭頂骨の上に重なる。

〔問題 21〕 分娩開始前から分娩第2期の母体の変化で正常から逸脱しているのはどれか。

1. 体温が36.7℃から37.2℃に上昇
2. 収縮期血圧が120 mmHgから135 mmHgに上昇
3. 赤血球数が410 万/ μ lから450 万/ μ lに増加
4. 白血球数が8,900/ μ lから11,000/ μ lに増加

〔問題 22〕 産婦の強い不安が母体や分娩に及ぼす影響で適切なのはどれか。

1. 血中カテコールアミンは増加する。
2. 子宮収縮は増強する。
3. 分娩時間は短縮する。
4. 子宮血流量は増加する。

〔問題 23〕 乳汁分泌で正しいのはどれか。

1. プロラクチンの分泌は分娩終了後に急増する。
2. エストロゲンは乳汁分泌を抑制する。
3. 初産婦は産褥1日から乳汁分泌が亢進する。
4. プロモクリプチンは乳汁分泌を促進する。

〔問題 24〕 予防接種法における疾病と接種対象年齢との組合せで正しいのはどれか。

1. 急性灰白髄炎 ——— 生後1か月～3か月未満
2. 日本脳炎 ——— 生後3か月～6か月未満
3. 麻疹 ——— 生後3か月～12か月未満
4. 風疹 ——— 生後12か月～90か月未満

〔問題 25〕 25歳の初産婦。一絨毛膜二羊膜性双胎、IUGR(子宮内発育遅延)のため管理入院している。妊娠33週0日の推定児体重は第1児1,812g、第2児1,254gで、第2児は羊水過少であった。同日NSTを実施したところ第2児に図のような胎児心拍パターンがみられた。

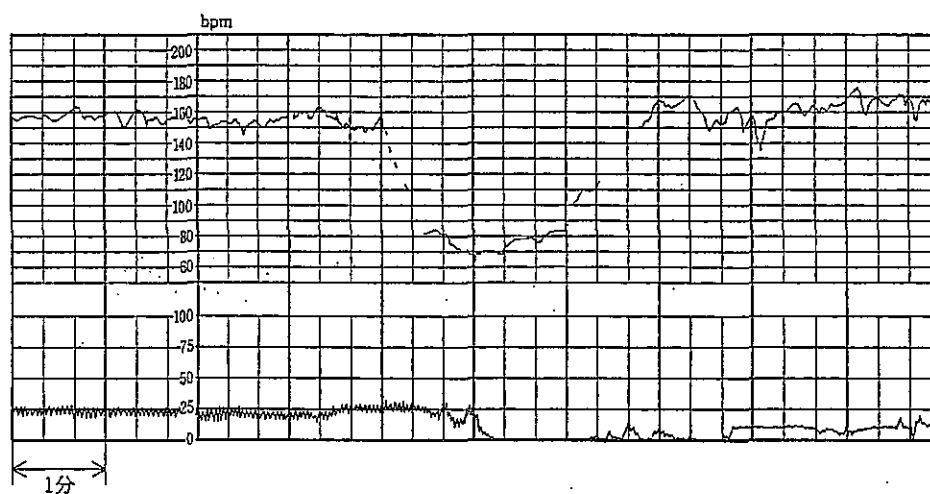


図 第2児の胎児心拍陣痛図

処置で適切なのはどれか。

1. NSTを続行する。
2. 体位変換を行う。
3. 酸素吸入を行う。
4. 帝王切開術を行う。

〔問題 26〕 子宮筋腫合併妊娠で誤っているのはどれか。

1. 近年、合併率は増加傾向にある。
2. 流早産率が約2倍になる。
3. 筋腫核の変性や壊死によって痛みが起こる。
4. 約7割で筋腫核が増大する。

〔問題 27〕 30歳の経産婦。妊娠39週1日。陣痛発来のため入院した。妊娠経過は特に異常なく、5日前の妊婦健康診査で推定児体重は3,780gであった。入院6時間後に突然激しい下腹痛と不安を訴えた。外出血はなく、内診により児の先進部が触知できなくなった。血圧78/60 mmHg、脈拍数120/分、呼吸数42/分。図はこのときの胎児心拍陣痛図である。

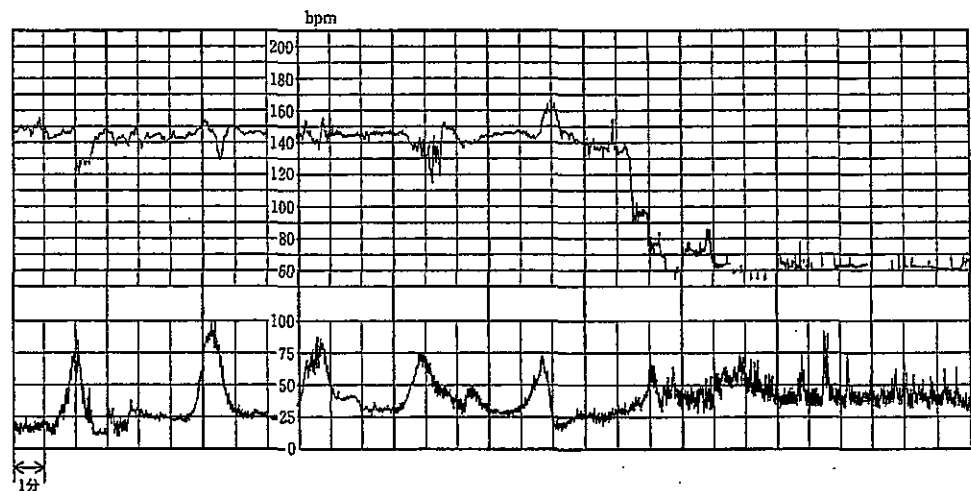


図 胎児心拍陣痛図

疑われるのはどれか。

1. 微弱陣痛
2. 子宮破裂
3. 常位胎盤早期剥離
4. 共圧陣痛

〔問題 28〕 骨盤位で経膈分娩が禁忌となるのはどれか。

1. 推定児体重が 3,500 g
2. 複胎位
3. 母体の身長が 152 cm
4. 児頭が反屈

〔問題 29〕 産褥期の血栓塞栓症の危険因子はどれか。

1. 床上安静
2. 若年妊娠
3. 鉗子分娩
4. 授乳

〔問題 30〕 産後うつ病で正しいのはどれか。

1. 産後 2 日以内に発症する。
2. 症状は数日以内に消失する。
3. 自殺念慮を伴わない。
4. 産褥精神病の中で最も頻度が高い。

〔問題 31〕 新生児けいれんの原因として考えにくいのはどれか。

1. 低血糖症
2. 低カルシウム血症
3. 髄膜炎
4. 低体温

〔問題 32〕 クラミジアが原因となる新生児の感染症はどれか。

1. 咽頭炎
2. 肺炎
3. 腸炎
4. 膀胱炎

〔問題 33〕 脳室周囲白質軟化症 (PVL) で正しいのはどれか。

1. 成熟児に発症しやすい。
2. 虚血性変化による病変である。
3. 新生児期にけいれんが多く認められる。
4. 治療可能な疾患である。

〔問題 34〕 乳児の栄養で正しいのはどれか。

1. 離乳食はでんぷん性食品から始める。
2. 果汁の酸味が強いときは蜂蜜で甘味をつける。
3. 離乳の完了とは母乳や人工乳を摂取しなくなったときをいう。
4. 乳児の食物アレルギーの多くは母乳がアレルゲンである。

〔問題 35〕 合併症のない 39 週の産婦の胎児心拍陣痛図である。

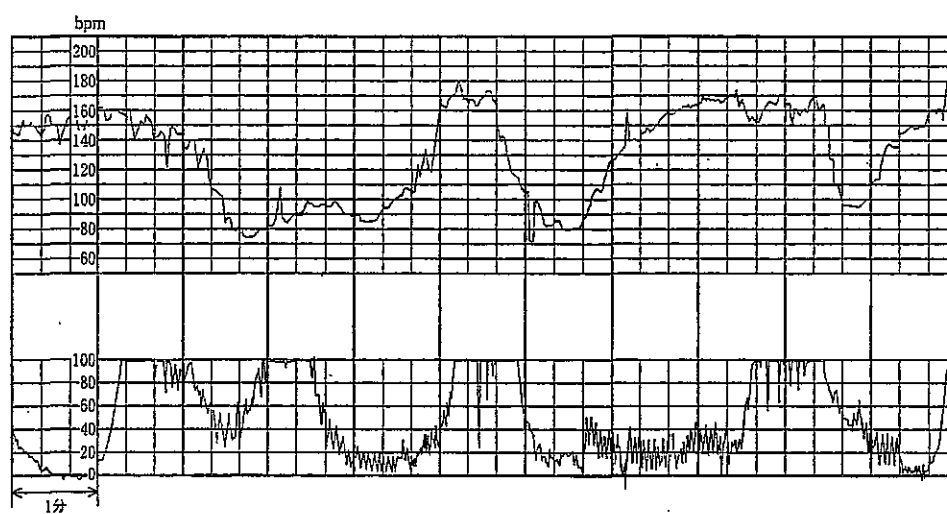


図 胎児心拍陣痛図

助産師がまず行うべき対応はどれか。

1. このまま経過観察する。
2. 体位変換をする。
3. 医師に連絡する。
4. 酸素吸入を行う。

〔問題 36〕 自然流産後の女性の心理的喪失を癒すため、悲しみの感情を表出できるよう早期に行う援助はどれか。

1. アサーティブ・トレーニング
2. セルフコントロール
3. ピアカウンセリング
4. グリーフカウンセリング

〔問題 37〕 第一子が染色体異常のため、次子妊娠の前に夫婦で相談に訪れた。適切な対応はどれか。

- a. 開かれた質問法(open-ended question)を用いて相談者の意思を確認した。
- b. 検査データは夫婦で共有するように話した。
- c. 反復出現率は一般の発生頻度に比べて高いことを強調した。
- d. 発生しない確率を数字で示した。

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 38〕 助産師が小学校4年生に性教育を実施した。教育内容で優先度が低いのはどれか。

1. 生命の誕生
2. 男女の身体的特徴
3. 男女の役割
4. 性衝動への対応

〔問題 39〕 未婚女性。月経痛が強いため婦人科外来を受診した。外来で助産師が対応し幼少時に性的暴力を受けた経験をもつことがわかった。

診察の説明で適切でないのはどれか。

1. 過去の記憶がよみがえることがあると説明する。
2. 診察はいつでも途中で止められることを説明する。
3. 内診の必要性を説明する。
4. 内診は短時間で終わるので我慢するよう説明する。

〔問題 40〕 経口避妊薬で正しいのはどれか。

1. ほとんどが黄体ホルモンの単剤である。
2. 医療保険が適用される。
3. 性器出血がみられても排卵は抑制される。
4. 分娩後に服用すると乳汁分泌が促進される。

〔問題 41〕 妊娠を最も早期に確認できる診断法はどれか。

1. 早朝尿で尿中の hCG (25～50 単位/l) を確認する。
2. 早朝尿で LH サージを確認する。
3. 基礎体温で 14 日間持続した高温相を確認する。
4. 超音波断層法で子宮内の胎嚢を確認する。

〔問題 42〕 妊婦の母親役割への適応で正しいのはどれか。

1. 胎児への愛情を示す言葉が聞かれない場合は愛情がないと判断する。
2. 初産婦は妊娠初期からどのような母親になるかをイメージしやすい。
3. 胎児のイメージを育むことは母親役割適応への準備となる。
4. 個人的欲求と母親役割との葛藤が生じることはまれである。

〔問題 43〕 父親が出産準備教育に参加する目的で適切でないのはどれか。

1. 母親役割を代行できるようにする。
2. 父親としてのアイデンティティを確立する機会とする。
3. 分娩時に産婦をサポートできる知識を得る。
4. 経験者からの情報収集や仲間作りの場とする。

〔問題 44〕 妊娠 10 週の勤労妊婦。つわりの症状が強いので「母性健康管理指導事項連絡カード」を活用して必要な措置を事業主に申請したい。

適用できる措置で最も適切なのはどれか。

1. 休業
2. 勤務時間の短縮
3. 負担の大きい作業の制限
4. 長時間の立ち作業の制限

〔問題 45〕 分娩第 2 期の産婦が両手のしびれと息苦しさとを訴えた。母体の呼吸数は増加したが、他のバイタルサインや胎児心拍には異常はみられなかった。

まず必要な援助はどれか。

1. ビニール袋を用いた呼吸の指導
2. 酸素吸入
3. リラクゼーション法の支援
4. 側臥位への体位変換

〔問題 46〕 妊娠 29 週の経産婦。前期破水と切迫早産の診断で入院した。頭位で児心音は正常で、医師から塩酸リトドリンの点滴静脈内注射の指示が出された。

観察項目で優先度が低いのはどれか。

1. 子宮収縮
2. 羊水の性状
3. 胎動
4. 母体の脈拍

〔問題 47〕 妊娠貧血で正しいのはどれか。

1. 鉄吸収率の低下がみられる。
2. 胎児への鉄供給が主な原因である。
3. 鉄剤の経口投与の常用量は約 100 mg/日である。
4. 軽症でも動悸や息切れが出現しやすい。

〔問題 48〕 妊娠 32 週の経産婦。重症妊娠中毒症で入院した。入院後すぐに子宮収縮を訴えた。図はそのときの胎児心拍陣痛図である。

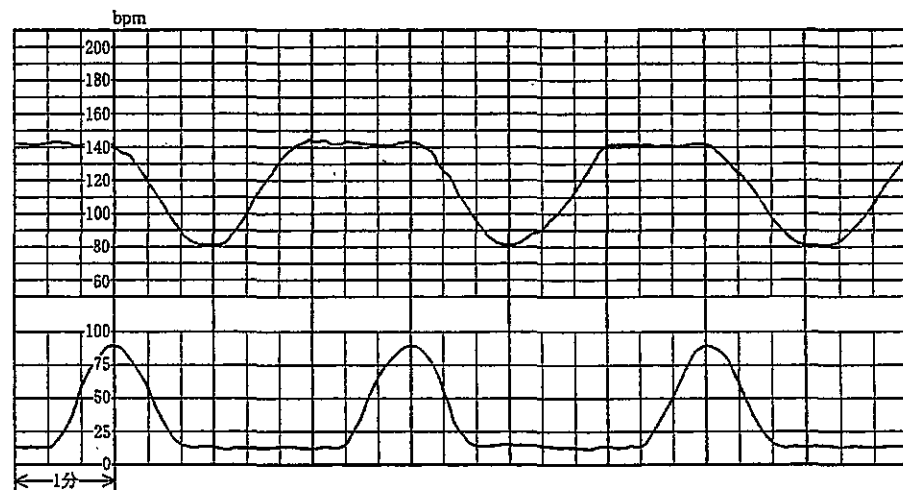


図 胎児心拍陣痛図

予測される治療方針で適切なのはどれか。

1. 胎児心拍モニタリングを続行する。
2. 子宮収縮を抑制して胎児が成熟するのを待つ。
3. 妊娠中毒症の対症療法を開始する。
4. 直ちに帝王切開術を行う。

〔問題 49〕 産痛を増強させるのはどれか。

1. 産婦の家族への依存度が高い。
2. 家族の情緒的サポートが高い。
3. 産痛緩和の対処能力が高い。
4. 分娩に対するイメージと現実とが一致している。

〔問題 50〕 28歳の経産婦。妊娠39週5日。陣痛間欠3～4分、発作40～50秒で入院した。入院時の子宮口は7cm開大、Station±0、未破水、胎児心拍数140～150bpmであった。産婦は緊張が強く、苦しそうな表情がみられた。

適切な対応はどれか。

1. 洗腸を行う。
2. 鎮痛鎮静薬を用意する。
3. 努責の練習を促す。
4. 分娩の準備をする。

〔問題 51〕 29歳の初産婦。子宮口が全開大してから1時間が経過している。児頭は排臨状態で早発一過性徐脈が出現している。

適切な対応はどれか。

1. 陣痛発作時にできるだけ長く努責を促す。
2. 産婦が好む姿勢にする。
3. 外陰消毒を開始する。
4. 膣壁を圧排して児頭の下降を促す。

〔問題 52〕 仰臥位での正常分娩。

児頭娩出時の努責調整で適切なのはどれか。

- a. 短息呼吸をさせながら陣痛の極期にゆっくりと陰門を通過させる。
- b. 自然な努責なら児頭が陰門を通過するときも努責してよい。
- c. 陣痛の退行期にゆっくりと陰門を通過させる。
- d. 陣痛が強いときは間欠時にゆっくりと陰門を通過させる。

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 53〕 初産婦。第2前方後頭位。

分娩介助(仰臥位)で正しいのはどれか。

1. 児頭が排臨してきたら会陰保護を行う。
2. 後頭結節が恥骨弓下を滑脱するまで屈位を保つようにする。
3. 第4回旋は児の右肩が母体の前方に向かうようにする。
4. 児は骨盤誘導線に沿って水平になるように娩出する。

〔問題 54〕 オキシトシンよりもプロスタグランジンによる分娩誘発が優れている点
はどれか。

1. 過強陣痛が起こりにくい。
2. 頸管未成熟例の成功率が増加する。
3. 血栓性静脈炎が起こりにくい。
4. 胎児仮死が少ない。

〔問題 55〕 22歳の初産婦。妊娠37週5日。午前3時に陣痛が発来し入院した。午前11時に「痛くてもう我慢できない」と訴えた。子宮口は4cm開大であり、陣痛間欠1～2分、発作は60～90秒、胎児心拍数は150bpmであった。

産婦への援助で適切なのはどれか。

1. 分娩監視装置の使用を中断する。
2. 体力保持のため飲食を勧める。
3. 子宮下部の圧痛に注意する。
4. 鎮痛薬の処方を医師に依頼する。

〔問題 56〕 分娩時出血多量で輸血が必要な褥婦。

輸血量が適正と判断できるのはどれか。

1. 自覚症状の消失
2. 血圧および脈拍数の正常化
3. ヘモグロビン値が 10 g/dl
4. 出血量とほぼ同量

〔問題 57〕 生後 5 日の新生児。

母乳不足のサインはどれか。

1. 母乳を 8 ～12 回/日飲んでいる。
2. 排尿が 3 回/日である。
3. 黄色便が 3 回/日である。
4. 体重が増加傾向に転じている。

〔問題 58〕 新生児期の母子関係の形成に関するアセスメント項目で優先度が低いのはどれか。

1. 児の気質的特徴
2. 家族の支援体制
3. 母の性格
4. 母の学歴

〔問題 59〕 27 歳の褥婦。産後 6 週に、妊娠中していたエアロビック・ダンスを再開したいと相談してきた。悪露はほとんどなく、母乳栄養だが家族の協力もあり時間の調整は可能であるという。産後 4 週の健康診査の結果に異常はなかった。

適切な指導はどれか。

1. エアロビック・ダンスを始めるのは差し支えない。
2. 脈拍数 110/分程度までの強度の運動ならよい。
3. 乳房に負担がかかるので好ましくない。
4. 関節や靱帯がまだ正常に回復していないので控えたほうがよい。

〔問題 60〕 18 歳の初産婦が正常分娩した。夫は 35 歳の会社員で毎日帰宅が遅く出張も多い。

退院に向けたアセスメント項目で優先度が高いのはどれか。

- a. 家族の育児支援体制
- b. セルフケア能力
- c. 収入
- d. 居住環境

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 61〕 帝王切開術後のケアで正しいのはどれか。

1. 術当日は 2 ～ 3 時間おきに体位変換をする。
2. 術後 48 時間は絶食とする。
3. 授乳は術後 2 日から開始する。
4. 膀胱内留置カテーテルは 3 日間留置する。

〔問題 62〕 成人T細胞白血病(ATL)キャリアのため母乳育児を断念した。

産褥早期の乳汁分泌抑制の援助で適切なのはどれか。

- a. 乳房の冷罨法を行う。
- b. 乳房の基底部マッサージを行う。
- c. 入院中は搾乳を行う。
- d. 乳帯で圧迫する。

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 63〕 生後1日の新生児。出生体重 3,000 g。

問題となるのはどれか。

- 1. 心拍数は135/分で呼吸性のリズム不整があった。
- 2. 総ビリルビン 13.8 mg/dl であった。
- 3. 頭頂部に産瘤が触知された。
- 4. 水様性の嘔吐が3回みられた。

〔問題 64〕 出生直後の新生児で注意を要するのはどれか。

- a. 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂) 94 %
- b. 呻吟
- c. 直腸体温 36.2 °C
- d. 臍帯動脈血 pH 7.25

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 65〕 母親から子どもについて以下の訴えがあった。

専門医への相談が必要なのはどれか。

1. 「3 か月なのに首がすわっていません。」
2. 「6 か月なのに寝返りができません。」
3. 「9 か月なのにのおすわりができません。」
4. 「12 か月なのに上手に歩けません。」

〔問題 66〕 地域周産期医療システム体制の必要性を裏付けるデータで優先度が低いのはどれか。

1. 低出生体重児の出生率の上昇
2. 多胎児の増加
3. 予防可能な新生児死亡例数
4. 帝王切開率の増加

〔問題 67〕 初産婦。妊娠 30 週で分娩した。児は 1,850 g で NICU に入院し合併症は指摘されていない。2 年前に仕事を辞め、夫の扶養家族になり、現在まで専業主婦である。児の入院費が払えるか心配で相談してきた。

現在活用できる社会資源はどれか。

1. 養育医療
2. 児童扶養手当
3. 療育の給付
4. 出産手当金

〔問題 68〕 我が国の大学に留学している未婚の外国人女性が妊娠、分娩した。

この母子に適用困難なのはどれか。

1. 母子健康手帳の交付
2. 出産扶助
3. 保育所への入所
4. 乳幼児の予防接種

〔問題 69〕 子どもをもつ労働者が法律に基づく育児休業に準ずる措置または勤務時間短縮の制度を利用できる子どもの年齢の上限はどれか。

1. 満1歳未満
2. 満2歳未満
3. 満3歳未満
4. 満4歳未満

〔問題 70〕 DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者の相談に応じ、必要な指導を行うことが法的に規定されているのはどれか。

1. 母子保健推進員
2. 民生委員
3. 婦人相談員
4. 主任児童委員

〔問題 71〕 助産師の守秘義務が明記されている法律はどれか。

1. 刑 法
2. 母子保健法
3. 戸籍法
4. 保健師助産師看護師法

〔問題 72〕 最近、母乳育児に関する退院後の電話相談が増加している。産科病棟の助産師は、退院後の母児を対象に母乳育児の継続を目指したグループ活動を企画した。

適切なものはどれか。

1. 対象は初産婦
2. 第1回は退院1か月後
3. 形態はピアグループ中心
4. 効果判定は電話相談件数の減少

〔問題 73〕 助産所の管理、運営で正しいのはどれか。

- a. 有床助産所は10床まで認められている。
 - b. 出張業務のみの場合、その助産師の住所をもって助産所とみなされる。
 - c. 構造設備に関する基準は医療法に規定されている。
 - d. 開設者は助産師でなければならない。
1. a、b
 2. a、d
 3. b、c
 4. c、d

〔問題 74〕 平成 12 年に改正された医療法で助産師の業務等に関して広告ができるようになったのはどれか。

1. 常時業務に従事する助産師の氏名
2. 就業の日時
3. 学 歴
4. 助産録に係る情報を提供することができる旨

〔問題 75〕 初産婦。巨大児が疑われたが、ザイツ法で児頭骨盤不均衡はないと判断して経膈分娩を試みた。クリステレル圧出法を 5 回繰り返して児頭は娩出したが前在肩甲の娩出困難となり、マックロバーツ法によって娩出した。児は 4,400 g、アブガースコアは 8 点で、小児科医の診察を依頼し、上腕神経叢麻痺と診断された。助産師は母親に子どもは大丈夫かと聞かれたので、その場で重篤な障害回避のためにやむを得なかったと説明した。

この事例について後日病棟内で検討会を行った。

適切であった対応はどれか。

1. ザイツ法で児頭骨盤不均衡を判断した。
2. クリステレル圧出法を 5 回行った。
3. 出生後に小児科医の診察を依頼した。
4. 助産師がその場で母親に状況を説明した。

◎ 下記の欄に受験番号および氏名を記入すること。

受 験 番 号	氏 名(楷書で書くこと)